

何も知らない

最恐

魔王

M A O U

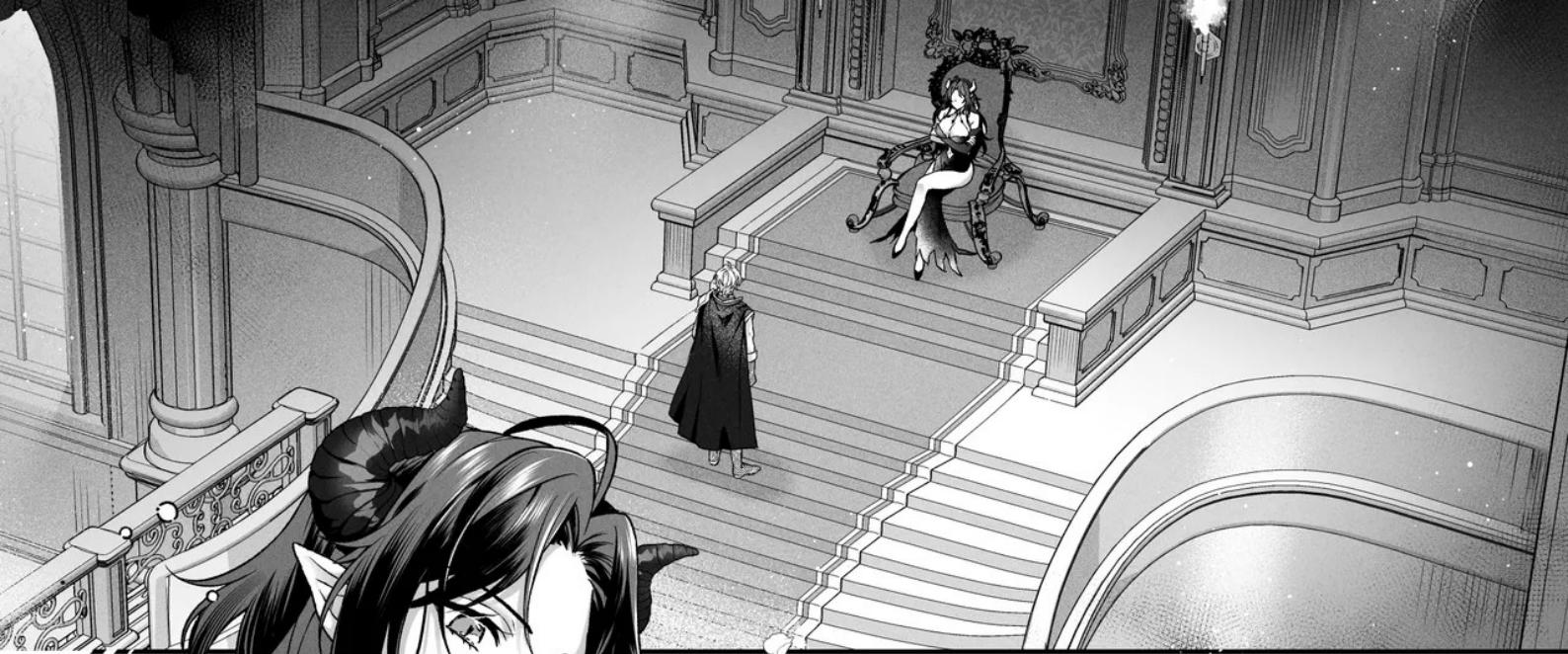
執愛

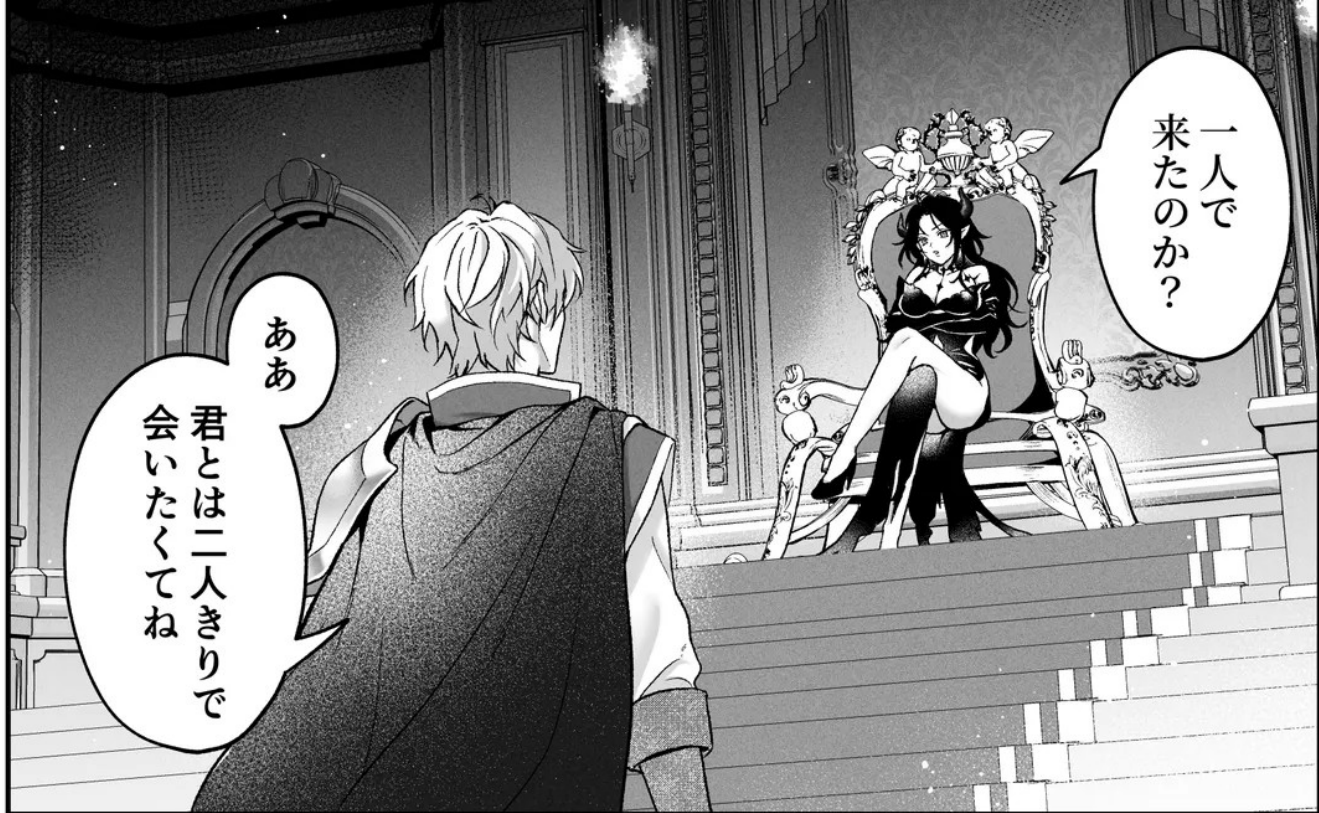
Y U S H I A

勇者

に囚われる







一人で
来たのか？

ああ

君とは二人きりで
会いたくてね



私との力の差を
わかっていない
ようだな

身一つでここまで
たどり着いたのか

こいつ…
なかなかやるぞ…



なぜあんな
ことをした？

…あんなこと
とは？

色んな村に
魔族をけしかけ

人々を傷つけてきた
だろう



知らん



しかしこいつに
馬鹿正直に
話すのは癪だ

ニヤッ

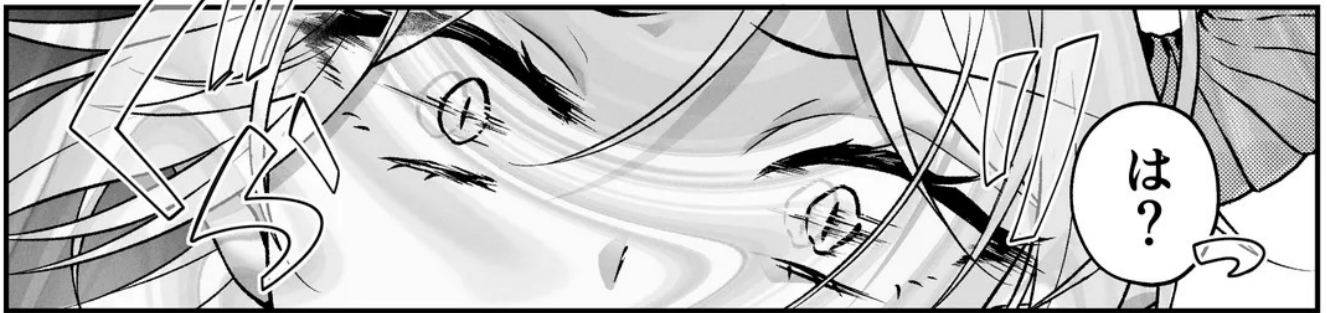


そんなの
他の魔族が勝手に
してきたことだ

私が命令した
わけではない



上等種が下等種を
蹂躞するのに
理由があるか？





身体が動かん…!

は…!



これは
目を見て発動する
魔法…!?

私に効くとは
こいつ強い…!



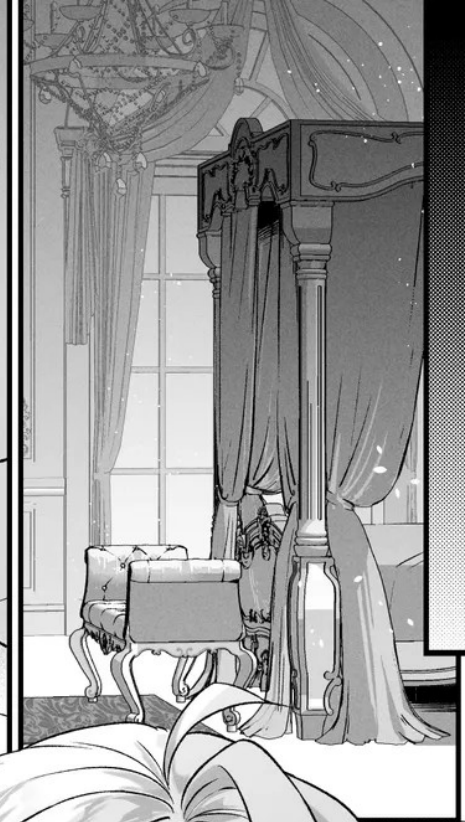
場所を
移動しようか

…ッ!
!?



貴様

何のつもりだ



…は？

俺は魔族を
下等種だとは
思っていないよ

生き物は皆
平等なんだ

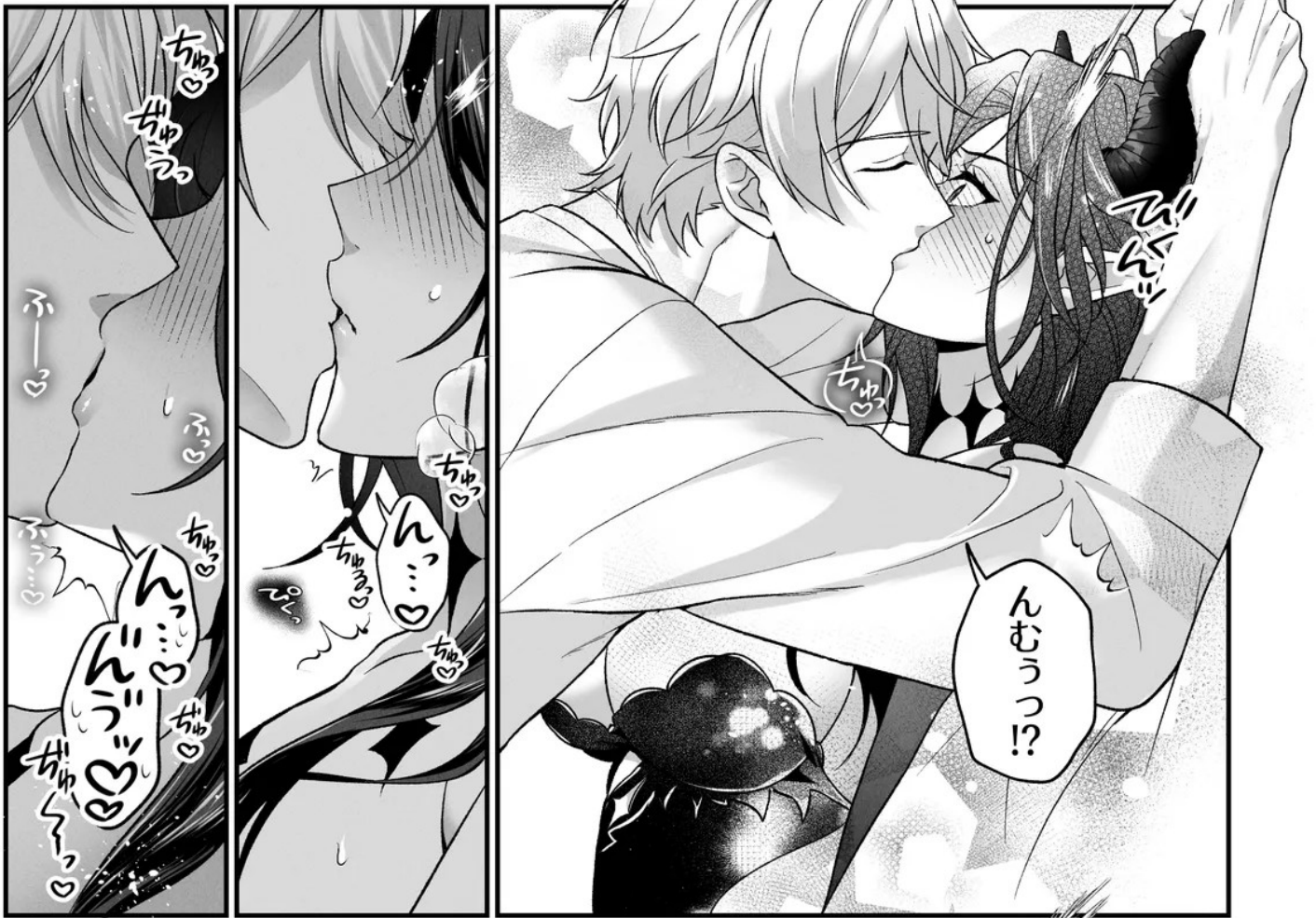


君を蹂躪^{じゅうりん}
しようと思っ



君は自分が絶対的に
上の存在だとでも
思ってるみたいだけど
それは間違いだ

何を...



んむっ!!



何を考えている...!?

なんだコイツ...!



一方その頃

むしろ魔王の方が心配になってきたな勇者が一体何をしでかすか…

…?

どういふことですか?

勇者さん一人で魔王城に行っちゃったんですか!?

助けに行かないと…!

いや

アイツなら心配いらない

お前は新入りだから知らなかったか

そもそも勇者さんがあんなに魔王にこだわるのって…

昔助けられたんだって

魔王に



魔王を倒すため
そこまで…!!
さすが
勇者さん!

はあ ああ

はは…



sonで魔王に
会うために
強くなったんだと

なるほど…



勇者を心配するだけ
無駄っつーか…

「魔王を倒すため」
ではないっつーか…



アイツ
トんじゃってる
からなあ…

一方
その頃

魔王城では…



はっ!?

抵抗しないのかい?



はあ



お前が私の動きを止めようとするな!

お

なっ!



口は動くはずだよ?

舌を噛みちぎるくらいでできたと思うけど

なっ
なっ
なっ
!!!





し 知るかつ!

離せっ!

ヒューッ
ヒューッ
ヒューッ
ヒューッ
ヒューッ

まだ自分がと
上の存在だと
思ってる?



綺麗だよ

何をっ!

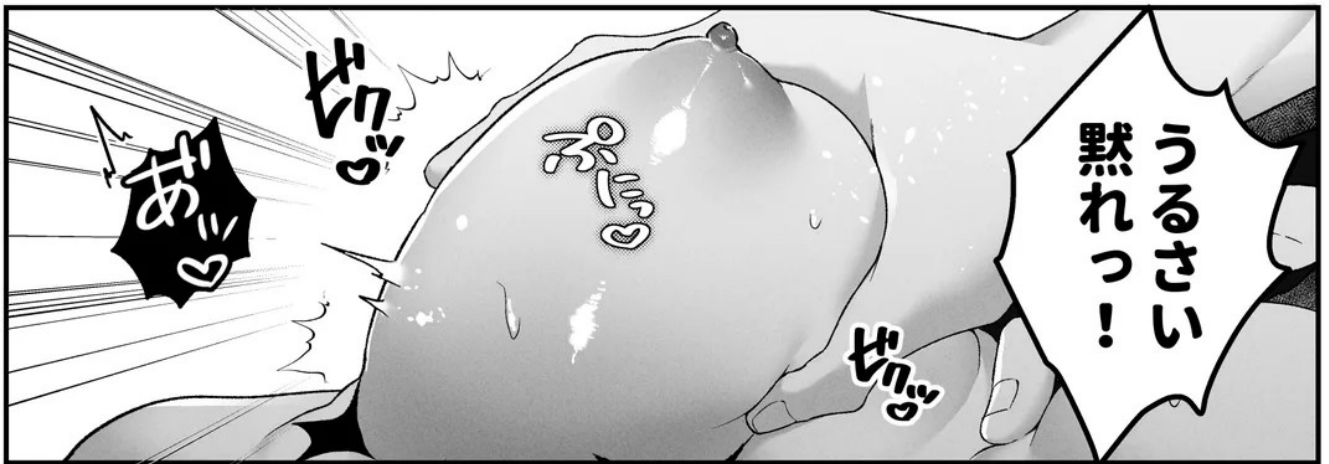
な

かあああ

ひっ!

ヒッ

ヒッ



うるさい
黙れっ!

おんいん

ヒッ

あハハハ

ヒッ



ヒッ

あハハハ

ヒッ

あハハハ

ヒッ

あハハハ



こんな身体変に
されて

どうして
好きになる
んだっ!



馬鹿かっ!

.....



君

まさか

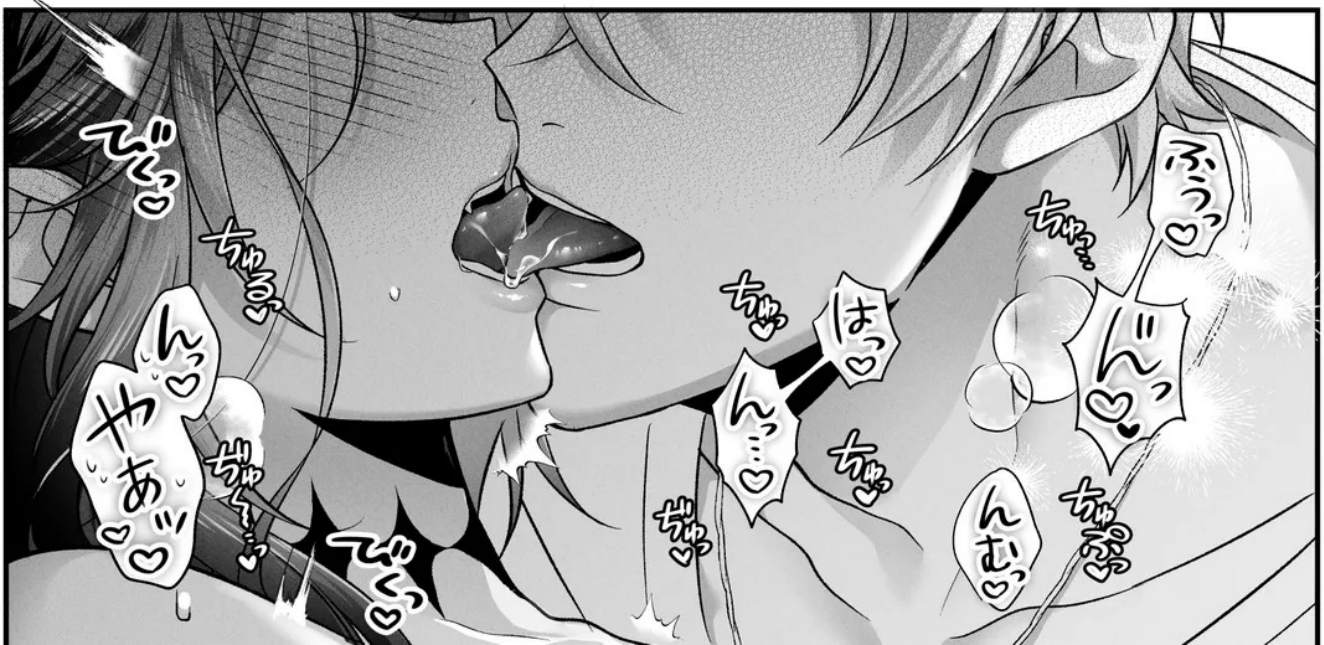
男を知らない
のか?

な

な

そ
ない
んな
だろ
わっけ
!

はあ〜...





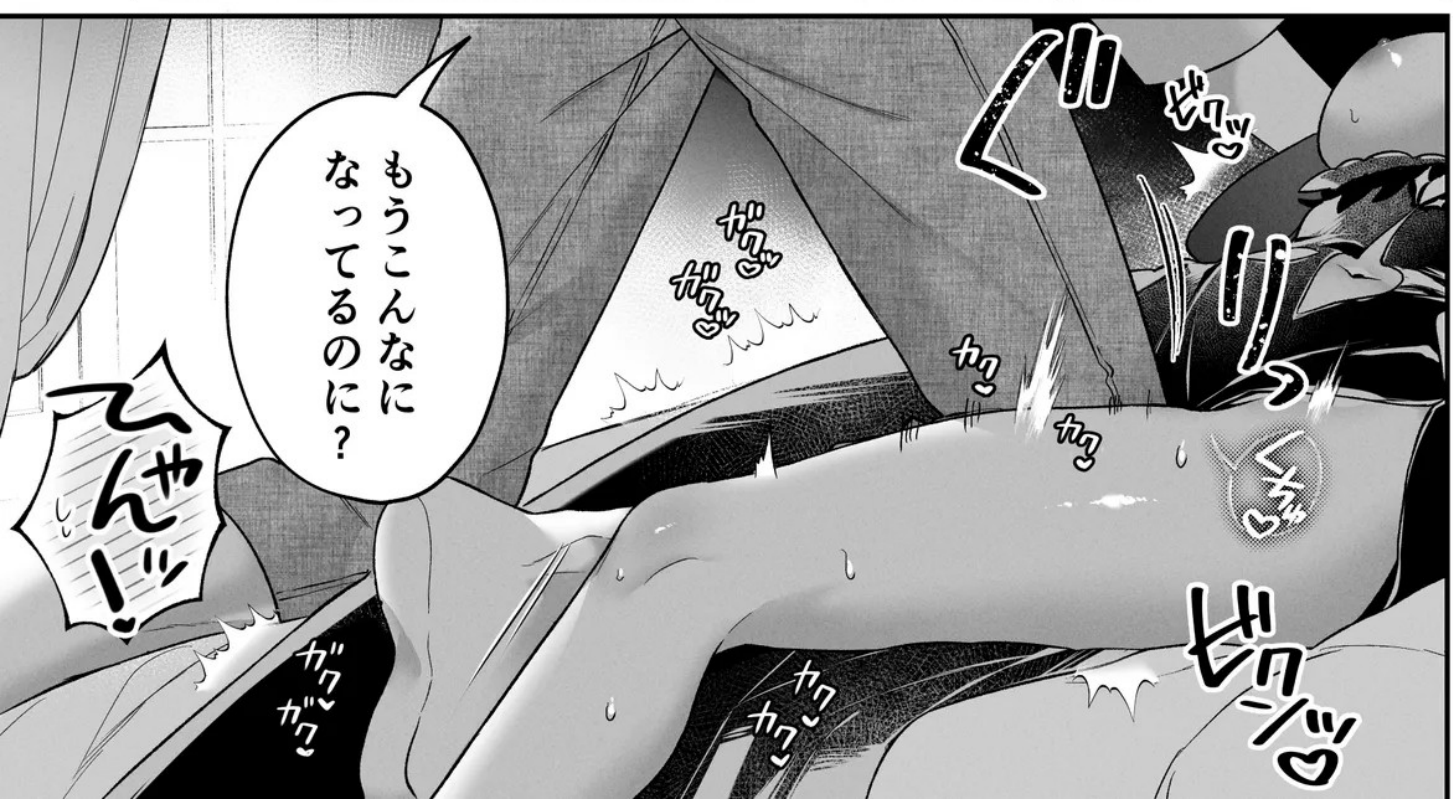
…はは
はは
やっぱり
かわいいな

はあっ…



絶対殺す
からなっ！

もうやめさっ
この変態っ



もうこんな
なってるのに？

えん！





褒め言葉だよ

馬鹿なのか
貴様は！



何っ…

なん

変態！



見るな
見るな
見るなっ！

かあ



やっぱり
綺麗だ







気持ちいいんだ

ちがっ...

あー

あー

あー

あー



変なの くる...っ やだっ

あー

あー

あー

あー

あー

あー



それも わからないんだ

なっ!

馬鹿に してるのかっ!



イキそう?

イクって 何...

あー

あー





何を言ってるんだ
こいつは

ゴクッ

身体が…!

ああ
時間切れか

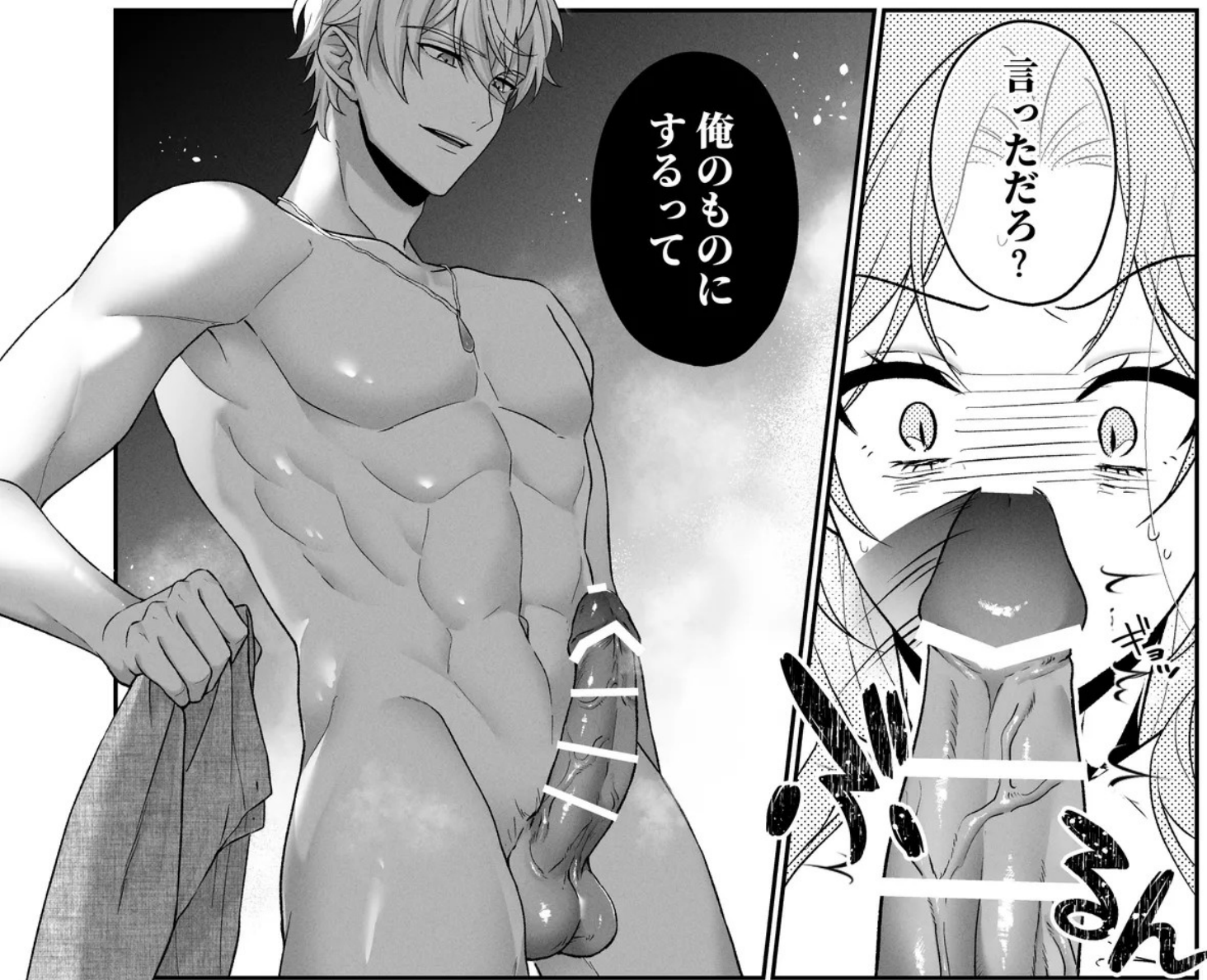
アッ

やっぱり貴様

魔法をかけて
いたな!?

うん
ごめんね?

絶対本気で
言っていない…!!





大丈夫

ゆっくり
息吐いて

む

むーむー
むーむー

あ



ほら
こうやって

ここ
好きだよな？

好きじゃ

ないっ！

ほら

しゃあん

しゃあん

しゃあん

あーあー
あーあー



本当に?
なら

気持ちよく
なんかないっ!
ギン



ちやんと
言うで?

気持ちよく
でしょ?



もっと
激しくして
いいかな

ひっ...!

ぬほ〜...

オニオニオニ



やっぱり
好きなんじゃないか

今のは
ちがっ♡



違うこと
ないだろ?

ちがうっ♡



はっはっはっ♡

はっはっはっ♡



はは

はは
すごい
締めるなっ
…♡

はは
はは



はは

みぢ
みぢ

だめえっ♡

はは
はは
はは



はは

はは

なんで?
こんなに
気持ち良さそう
なのになのに?

はは

やだ

やめろおっ♡

よくないっ…
てば…っ♡



イクとき
言ってよ

はは
はは

はは

誰が
言うかつ…!!

はは

はは

はは



おい
優しくするって

言った
言っただろ
っ!

(はっ)

びびり



ごめん

前言撤回する

そんな
余裕ない



わあぁぁぁぁ

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ

あ

あぁぁぁぁぁ

すごく
エロいよ

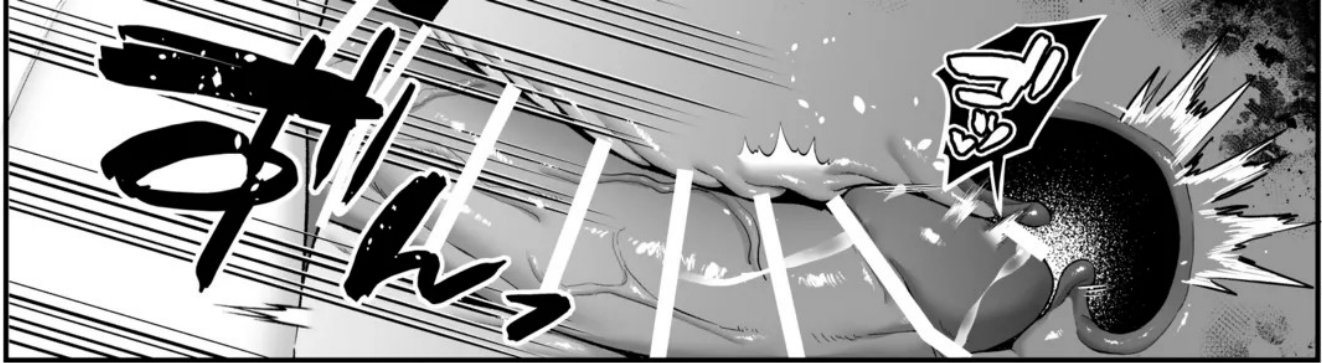
はははっ...♡

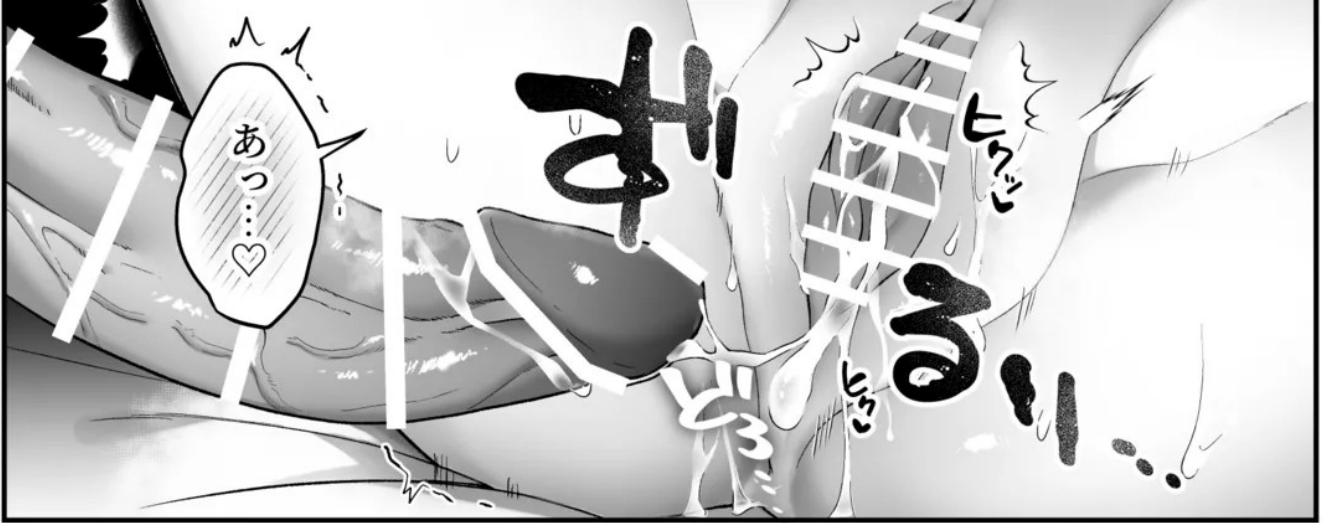
ハッ
ハッ
ハッ

殺す...♡

あぁぁぁぁぁ

ハッ
ハッ
ハッ









ここがいいんだ?



あああ

こーら♡

はっ
はっ

イクときは
ちゃんと
言っ♡

ほら
言っ♡
てみて？

もう♡
やめろお

イキますっ♡

言わないと
ずっとこのまま
だよ？

やだ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

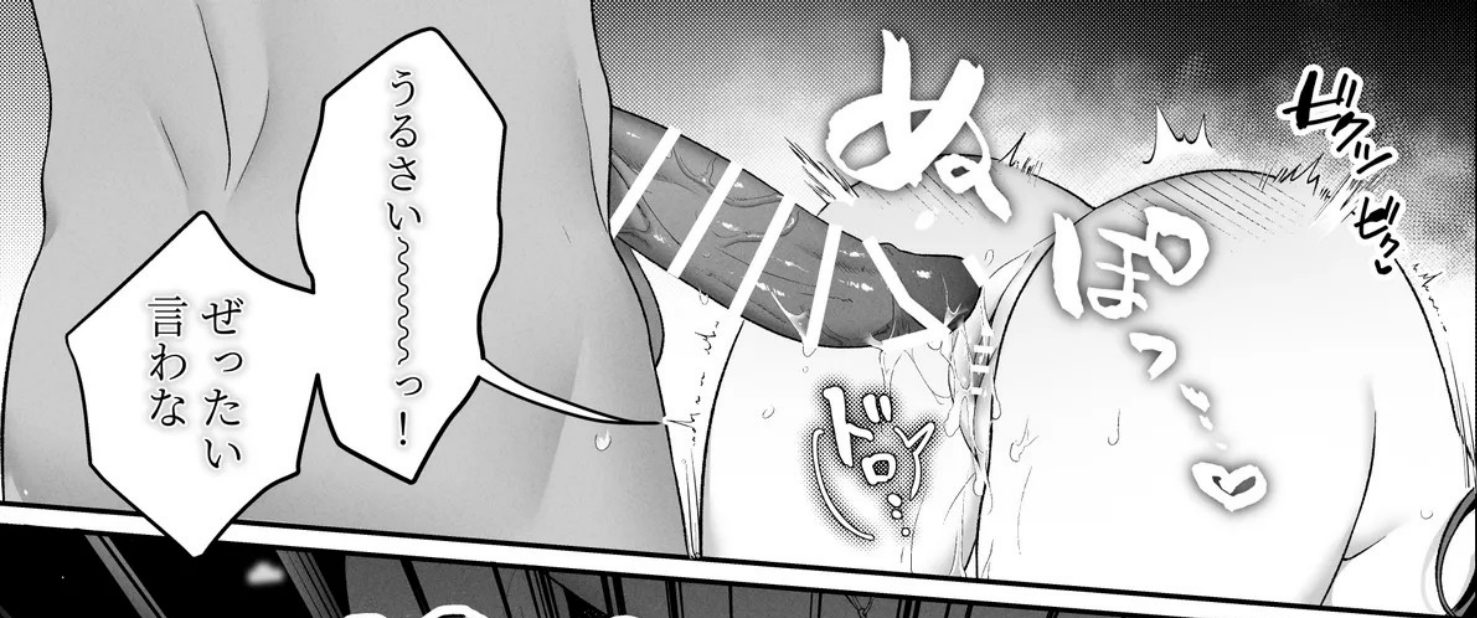
はっ♡
はっ♡
はっ♡

あ♡
あ♡

はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡

あ♡









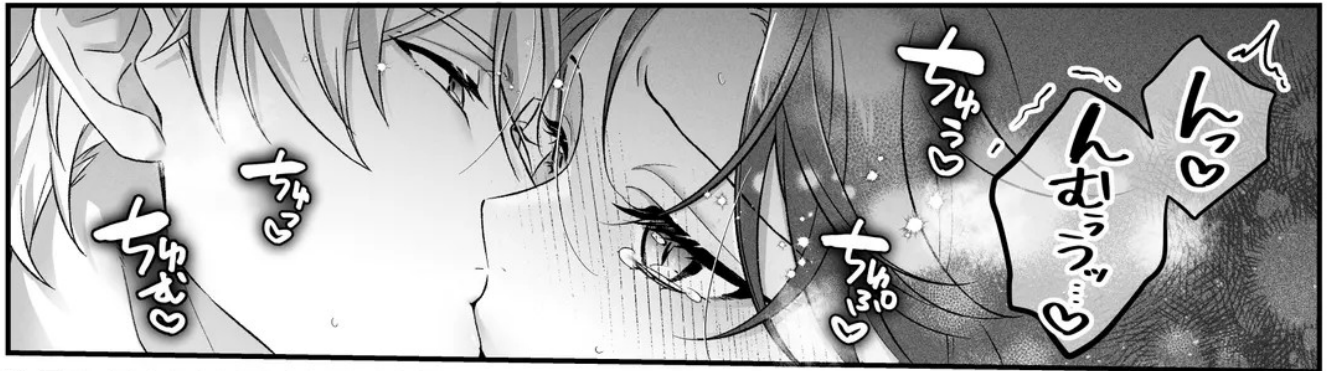
本当に君のおまんこは最高だよ

おまんこ

黙れへんた

いくらやっても
締めりが良くて

すぐに
イッちゃいそう





お仕置きしてあげるし♡

びしょ
びしょ
イッへる
イッへるから



悪いことしようとしたら

びしょ
びしょ
あッあッ
あッあッ



やっぱり俺の運命の相手は

魔王だったんだなあ♡



あーやば腰止まんないや♡



俺は君のことだけ考えてここまで来たんだから

君も俺以外のこと考えちゃだめだよ？



わたしは
わるいこと

なにも
してない

は

は



あ
なにも
してない

ん？

は

は



へえ…

あれから
何年も経つのに

君は
変わらないね

良かった

は…？



…



よわいもの
いじめは
つまらないから

しない…

は

は

勇者が幼い頃

勇者の村が魔族に
襲われた

その際、偶然
訪れていた魔王に

命を助けられた

その姿に
一目惚れする

それ以降
魔王を忘れられず

成長して

パーティーの
メンバーと
旅をして

強くなって
いくが

その全ては
「魔王に会いに
行くため」



あの時
俺を助けて
くれたのは君だ

君のおかげで
俺はこんなに
強くて立派な勇者に
なったよ

じゅっ
私はお前のこと
一切知らんぞ…



たくさん
戦って
君を倒せる
くらい強く
なった

話を聞け！
私はお前の
ことなど…

ぎゅっ…



目に焼きついて
離れなかった

忘れたことなんて
一度もない

話を聞…っ！

弱いもの
いじめはしない
んだって？

じゃあ
何の問題もなく
君を嫁にもらえる
わけだ？

ホォーホォー...

なにを
言ってるんだ!?

嫁っ!?
私はお前なんか
大嫌いだっ!

そっか♡

やっぱり君も
俺のことだけ
考えてくれたんだね

すっ♡



俺がチンコを
挿れるまで
止まらなくなるから

なんだその頭のおかしい魔法はっ!?



お

俺から離れたたり
浮気したりしたら

今日の快感が
一気に君のことを
襲って

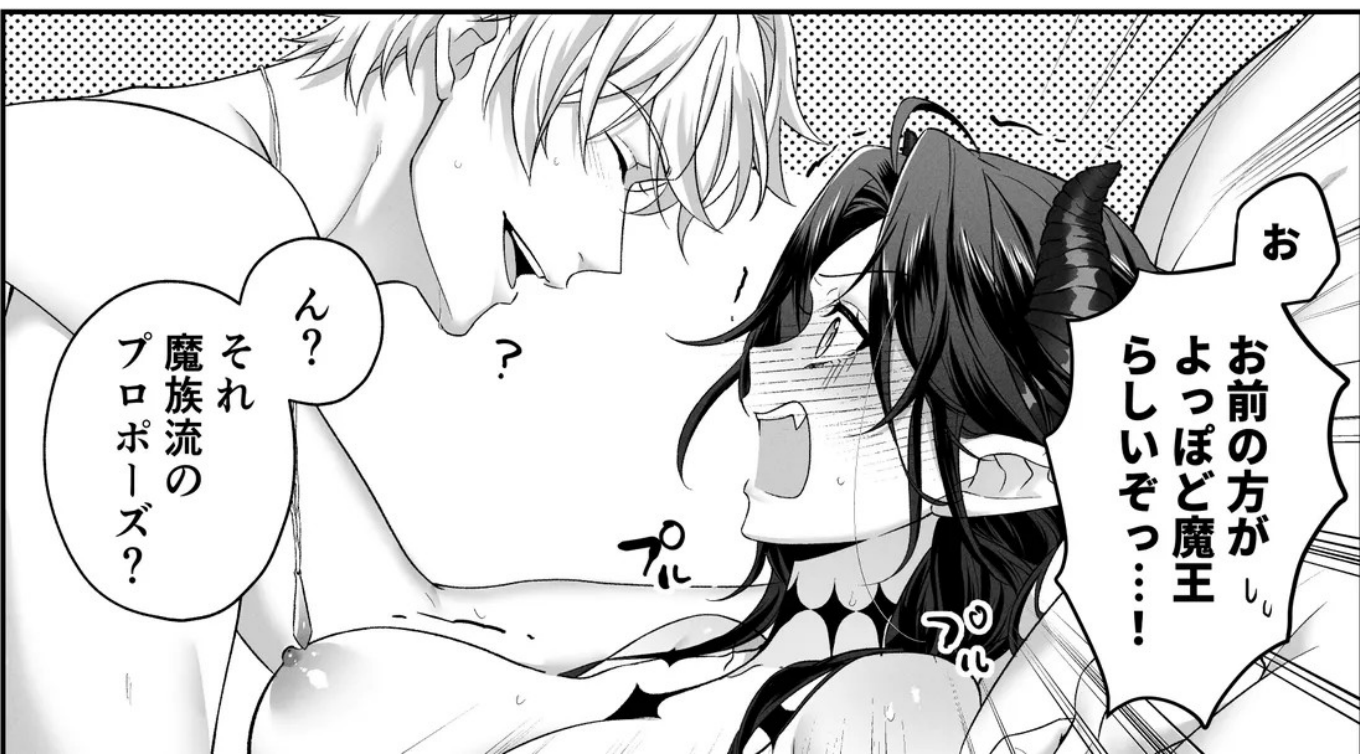


何をしたっ!?

とりあえず
結婚の約束
みたいな?



まあ君が頭おかしく
なるくらい気持ちよ
く
なりたいたいならいいけど



お

お前の方がし
よっぽど魔王
らしいぞっ...!

ん?

それ
魔族流の
プロポーズ?



ニハハ

本当に俺のこと
見てくれてるんだな
って思うからさ♡



はあ!?



馬鹿かつ!
お前
ほんとに
殺すっ!

あはは

君に殺すって
言われると
興奮するんだよね♡



ぽんぽん♡

グン♡

かわいいね
俺のお嫁さん♡

♡♡♡♡♡
も

動いちや♡

キニニ

ぽんぽん♡

ぽんぽん♡

びゅん♡





遅かったか…

1/10
10%
10%



たすけ…
こいつ
何とかし…

浮気?



俺この子と
結婚するから
パーティー抜けるね

そろそろ子供
できるから
そばにいて
あげないと

ほ
ちゅ
♡

ほ
ちゅ
♡

ほ
ちゅ
♡



泣く君は
すごく可愛くて
今すぐハメたく
なっちゃうけど

他の奴らに
その顔見せるのは
やめようね

まさかあいつらを
誘ってるとか
言わないよね

ほ♡
ほ♡
ほ♡

ほ♡

ほ♡



誘うわけ…ッ

はっ

はっ

そうだよ

君は俺のことしか
見てないもんね

わかってる



好き

好き

ちゅっ

ちゅっ

俺と幸せに
なろうね

魔王様



ああ
もう逃げられ
ないんだ

(はっ)



こうして
勇者と魔王は
結婚し

二人は
人間と魔族のかけ橋の
象徴と勝手に崇められ

勇者は魔王以外に
興味がないので

世界は
平和になった

魔王城は二人の
愛の巣になる

人に愛され慣れて
いなかった魔王が
勇者に絆されるのも
時間の問題：

とりあえず二人は
末永く幸せに
暮らしましたとさ

めでたし
めでたし
めでたし？

何も知らない

最恐

執愛勇者

YUSHYA

魔王

MAOU

に囚われる

勇者

基本的に勇者にふさわしい、強くて優しくてカッコ良い青年。

魔王を倒す勇者に選ばれ旅に出ることになるが、幼い頃に助けてくれた魔王のことを忘れられず、魔王を倒すのではなく魔王の潔白を晴らすために魔王に会いに行く。

しかし至る所で魔王の悪行を耳にし(魔王の部下が魔王の名を上げるために魔王の名を出して悪事を働いた)、最初は信じていたものの、どんどん清廉な心がドロドロになっていく。

結果何があったか、魔王に激重感情を持ち魔王に関することには手段を問わない激ヤバ男になる。基本善人なのでいたるところで人助けをし女性や時には男性に惚れられるが、魔王一筋。

旅の仲間たちは勇者の激ヤバ感情に気づいている。魔王が噂通りの人ではないと知っても、激ヤバっぷりはなくなりむしろひどくなる。おまえがラスボス。



魔王

ああ
もう逃
げられ
ないんだ



生まれた時から傍若無人。特に暗い過去はなく、人間を恨んでいるわけでもない。大体皆嫌いだが、特に弱い者いじめをしてるだけのくせに強いふりをしている奴が大嫌い。そのためたまたま人間を助けることがあるが、大嫌いな奴をぶちのめしただけで助けたつもりは一切ないし、善業も大嫌いなので自分が誰かを助けたと知ったらとても落ち込む。

唯一嫌いじゃないのは、自分と渡り合えるほど強い奴。美人だが強すぎるのでそういう意味では男は寄り付かない。強さで憧れてついてくる男はたくさんいる。おかげでウン百歳だが、処女。そのせいで若干拗らせているところがある。

勇者は自分と渡り合えるほど強い奴なのかもしれないと会うのを楽しみにしていた。実際そうだったが……。基本的におばかなので言いくるめられやすく、勇者との相性は良い。



かがり先生 描きあろしイラスト



◀勇者パーティ



はじめまして、どん丸です。本作の原作小説を書いた者です。
コミカライズしていただくのは今回が初めてで、今作のコミカライズのお話を頂いた時は
本当に驚き、とても嬉しくて……………キャラデザを見せていただいた瞬間に成仏しました。
とにかく魔王が可愛くて、勇者がかっこよくて、そしてとんでもなくエロい。
エロカッコいい感じなのにウブな魔王と、正統派イケメンなのに激ヤバな勇者で……
本当に大好きです。
まさか自分の書いた小説をこんなに素敵な漫画にして頂けるとは思いませんでした。
皆様本当にありがとうございました！

どん丸(@donmaru18)



この度、作画(キャラデザ・キャラ線画)を担当させて頂きました、かがりと申します。
この作品は一見クールだけど可愛い魔王さまと優男だけどSな勇者の魅力が出てると
思います！

私も勇者と魔王の魅力が出るようなキャラデザと作画を心がけ描かせていただきました！
担当者さんにもご迷惑をかけたりで対応してくださって感謝しかありません！
仕上がりも美しくして頂いた作品です。
満足いただけたら幸いです。

かがり(@cherish_511)

